

京都療病院日講錄

卷之一



癩病院日講錄卷之一 目次

總括

骨骸

長骨

短骨

扁骨

不整骨

骨ノ隆起ト凹窩トヲ論ス

骨ノ接合ヲ論ス

ル者ナリ之ヲ一片石ヨリ成ル所ノ平直ノ者ニ比スレバ
最モ強固トス 跗骨ノ装置此ノ如クナル者ハ造化
ノ妙巧ニシテ人智ノ及ブ所ニ非ズ○腕骨ハ左
右各八枚ナリ或ハ之ヲ七枚トスル
ノ説アリ蓋シ腕豆骨ヲ算セサルナリ

- 一 掌骨
- 二 掌骨上面 左足上面圖
- 三 同前部
- 四 跗骨
- 五 跗骨
- 六 内腕状骨
- 七 中腕状骨
- 八 外腕状骨



跗骨 為骨 骨形 圖

短骨ハ海綿質ヨリ成リ至薄ノ固性質ヲ被覆ス
其關節面ハ軟骨ヲ被リテ滑澤ナリ軟骨ヲ被ラ
ザル部ハ粗粒ニシテ覆フニ骨膜ヲ以ス關節面
ノ多少ハ每骨同カラズ

腕骨 八枚

両手合シテ十六枚

跗骨 七枚 膝蓋骨 一枚

兩足合シテ十六枚

以上三十二枚ヲ短骨トス

其一 縫合^{ラスチム} 真假ノ別アリ
 真縫合^{マエチム} ヲ骨縁鋸齒状ヲ爲シテ交錯相
 接スル者ニシテ工匠ノアリザシノ類ナリ
 即チ顱頂骨前頭骨ノ
 縫合ノ如シ

真縫合圖



假縫合^{カセチム} ノチチ^チラ分チテ二種トス一骨縁斜削
 シテ他骨ト相接合シ魚鱗ヲ附著スルガ如キ

者之ヲ鱗状縫合^{クワモサ} スト云フ顱頂骨ノ
 上縁顱頂骨ノ下縁ニ合スルガ如シ又兩骨
 對峙シテ粗糙面ヲ以テ直接スル者ヲ法爾
 母尼亞縫合^{ハル} ノ合着ト云フロ蓋骨中間ノ接合
 ノ如シ



顱骨内面
針刺圖

法爾母尼亞縫合圖

其二 斷費^ハ 西私^ハ 恥骨ノ中央前端稍廣キ軟骨
 ヲ挿入シテ兩片固ク相接合スル者是ナリ

フ可シ

真假ノ別ヲ舉テ簡易ニ述レハ左ノ如シ

假痘ハ**第一**經過短シ**第二**灌膿孰輕ク或ハ無シ

第三多クハ痘痕ヲ遺サス**第四**死者極テ少シ

往昔天然痘ノ流行時ニハ患者ノ死三分ノ一若

クハ半分ニ及ヒシモ輒近ハ大抵其種痘セル者

ヲ侵スカ故ニ多分ハ假痘ニシテ死者稍ク百分

ノ四若ハ五ニ過キス

豫防法

ハ種痘ニシテ其再三試種ニ在リ牛痘發
明ノ前ハ人民ノ十分一ハ痘瘡ノ為ニ死シ其他

十分一ハ癩痕醜相ト為レリ

歐羅巴全洲ノ人民
痘ノ為ニ死スル年

々々四十萬人ヲ以テ其發明以後今日ニ至テハ死者

一年三千人ニ過キス是ヲ以テ考レハ其豫防ノ

効偉ナルヲ辨テ待ス故ニ天然痘流行ニ當テ

ハ未タ種痘セサル者ハ素ヨリ論ナク既ニ種痘

セシ者ト雖凡宜ク後種テ之ヲ防禦スヘシ一回

種痘スレハ假令痘瘡ニ罹ルモ其性一變シテ危

殆ニ至ラス又牛痘ノ發明前ニハ真痘ヲ種テ其

感染ヲ防禦セリ是其種接スル者ハ感染ノ者ニ

比スレハ輕易ナレ凡亦稀ニハ劇症ヲ發シ死ス